

# みやぎ 県議会 だより

平成25年 2月定例会特集 第105号  
編集・発行 宮城県議会広報委員会  
TEL 022(211)3592  
〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8番1号

ホームページのご案内  
県議会のあらまし、議員名簿、本会議と委員会の日程等、各種(請願・陳情等)手続の案内、会議録等を掲載しています。  
インターネットで本会議、予算・決算特別委員会の生中継、録画画像をご覧になれます。http://www.pref.miyagi.jp/site/kengikai/

## 「復興加速」予算を可決



2月定例会本会議

### 「再生期」へとつなぐ がれき処理、住宅再建に注力

平成25年度の一般会計を目標とする復興がれき処理の予算案は復興加速の柱として議員は「処理完了の見通しは」と質問。知事は「中間目標とする24年度末の達成率50%が掲げられ、復興がれき処理をはじめ、災害公営住宅の整備を含む住宅再建の見通しは現時点で「見通しは」と答弁。議員は「25年度末までに約2400戸、26年度末に計画の半数を超える約8000戸の完成を見込む。27年度末までの全戸完成を目標に町と連携し、全力で取り組む」と答弁した。

第340回宮城県議会(2月定例会)は平成25年2月19日から3月19日まで29日間の会期で開催した。震災関連費74億5千万円を含む総額1兆5213億円の平成25年度一般会計当初予算案、東日本大震災が発生した3月11日を「みやぎ鎮魂の日」に定める条例案など計134議案を原案通り可決した。25年度は宮城県震災復興計画で定める「復旧期」の最終年度。次の「再生期」へ向け、震災がれき処理や被災者の住宅確保対策などの進展が図られる。議員は課題や問題点を指摘しながら復興の速度を上げ、よりよい施策となるよう議論を交わした。

### ドクターヘリ導入表明 広域防災拠点構想踏まえ

東北で宮城県だけが未だ導入となっていないドクターヘリについて議員は「宮城野原公園総合運動場(仙台市宮城野区)一帯での整備を検討される広域防災拠点と関連させて「早期導入の考えは」と質問。知事は「25年度末までに約2400戸、26年度末に計画の半数を超える約8000戸の完成を見込む。27年度末までの全戸完成を目標に町と連携し、全力で取り組む」と答弁した。

### 制度大幅に見直し 生コン仮プラント設置へ

資材の不足や高騰など、復興工場の業者が「資材の確保が難しい」と訴えている。議員は「生コンクリート製造の仮設プラントを、全国的に公共工事の増加が見込まれることを見直し、県の対応を求めた。入札不調の発生率は平成25年1月末時点で平均業組合など調整を図る」と述べた。

### 津波被害農地の復旧 27年度内完了目指す

本年度、約7700畝作付け可能  
議員は「津波被害農地の復旧は、被災者の生活再建に不可欠な課題である」と述べた。知事は「27年度末までに約7700畝の復旧を完了させる」と述べた。

### 市町村支援強力に 8000以下汚染廃棄物処理

福島の原発事故の影響で発生した汚染廃棄物の処理は、全国的に課題となっている。議員は「市町村の支援を強力に」と述べた。知事は「国の補助制度を活用し、市町村の負担を軽減する」と述べた。

### 風化防ぎ、教訓次代へ 「鎮魂の日」条例

議員は「鎮魂の日を短絡的に休校とするのは違和感がある。この日は児童生徒を登校させ、防災教育など次代に引き継ぐ重要な時間として活用すべき」と述べた。知事は「この日は休校しない」と答弁した。



「みやぎ鎮魂の日」の制定は、県民の慰霊の気持ちや復興祈念をより強めようとする石巻市の追悼式、3月11日

- #### 発議 <5件>
- 県議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例(1)
  - 宮城県議会における政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例
  - 宮城県議会委員会条例の一部を改正する条例
  - 県議会等に出頭した関係者等に対する実費弁償に関する条例の一部を改正する条例
  - 県議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例(2)

- #### 決議 <3件>
- 北朝鮮の地下核実験に抗議する決議
  - 国際リニアコライダー(ILC)の東北誘致を求める決議
  - 放射光施設の宮城県への誘致を求める決議

- #### 意見書 <7件>
- 環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉について迅速に判断することに反対し国益を踏まえた慎重な対応を求める意見書
  - 個人保証の原則廃止を求める意見書
  - ブラッドパッチ療法法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療体制等の推進を求める意見書
  - 配合飼料の価格高騰対策を求める意見書
  - 一般用医薬品販売制度に関する意見書
  - 東日本大震災で危機的状況にある国保特別会計への財政支援措置を求める意見書
  - 障害者総合支援法及び障害者虐待防止法に関する意見書

#### 可決・同意した 知事提出議案 <119件>

- 平成25年度宮城県一般会計予算
- 平成24年度宮城県一般会計補正予算案など

#### 採択した請願 <1件>

- 地域医療の充実に関するものについて

#### 不採択となった請願 <1件>

- 保険薬局への無料低額診療事業に関するものについて

#### 付帯意見

- 平成24年度一般会計補正予算補正予算案の多額の減額理由として資材高騰、労働者不足等複合的要因による施工確保困難が挙げられるが、このことは特に農業や漁業を中心とする本県一次産業の再生に深刻な影響を与えるものである。県は一日も早い復旧・復興を実現するため、あらゆる手だてを講じ、復旧・復興事業関連予算を適正に執行するよう万全を期すこと。
- 平成25年度一般会計予算案東日本大震災被災者の医療費一部負担金及び介護保険利用料の免除措置については、県は国に対し、自治体負担部分についても国が財政支援を行うよう求めるとともに、対象者を限定する等あらゆる手だてを講じ、免除措置が継続できるよう万全を期すこと。

代表質問は、安部孝幸(自由民主党・県議)、坂下(改革みやぎ)の2人。一般質問は、長谷川(改革みやぎ)の1人。小野寺正(伊藤和博(自由民主党・県議)、山下(改革みやぎ)の2人。環境生活農林水産委員会調査先 村田町竹の内地区産業廃棄物最終処分場など。調査項目 村田町竹の内地区産業廃棄物最終処分場の現状と今後の課題。審査議案 工事請負契約の締結(塩釜漁港棧橋等災害復旧工事)など25議案。保健福祉委員会調査先 南三陸町役場、気仙沼市役所、栗原市役所

#### 予算特別委員会

3月6、7の両日、委員15人による総括質疑を行い、その後、各分科会での審査を経て、平成25年度一般会計予算等を可決した。総括質疑者 細川雄一、畠山和純、菊地恵一、瀧澤慶、中島源陽、石川利一(自由民主党・

#### 常任委員会

平成24年11月定例会以降に行われた各委員会の県内調査の概要と今定例会での主な審査議案は次のとおり。  
●総務企画委員会  
審査議案 みやぎ鎮魂の日を定める条例など14議案  
●環境生活農林水産委員会  
調査先 村田町竹の内地区産業廃棄物最終処分場など  
調査項目 村田町竹の内地区産業廃棄物最終処分場の現状と今後の課題  
審査議案 工事請負契約の締結(塩釜漁港棧橋等災害復旧工事)など25議案  
●保健福祉委員会  
調査先 南三陸町役場、気仙沼市役所、栗原市役所



#### 宮城復興局との意見交換会

大震災復旧・復興対策調査特別委員会は4月1日、宮城復興局との意見交換会を開いた。同委員会が行った被災市町村への調査が出された、復興に向けたさまざまな課題について意見を交わした。県議からは、副議長、正副委員長ら13人、復興局からは谷公一、秋葉賢也両復興副大臣ら14人が出席した。沿岸被災地域で大きな問題となっている地盤沈下した土地のかさ上げに関連した課題や住宅再建支援に対する課

議長記者会見  
定例会閉会日に、中村功議長が記者会見を行った。「今定例会では、平成25年度当初予算案などが可決された。被災者への支援が実現した。今後も被災者に寄り添った施策が展開できる」と述べた。

#### 県議会からのお知らせ

- ラウンジコンサート  
県議会では、年4回の定例会開会日に「ラウンジコンサート」を開催しています。入場は自由ですので、ぜひご来場下さい。  
○次回コンサート開催予定  
日時/平成25年6月14日(金)午後0時15分～45分  
場所/県議会庁舎1階ラウンジ  
出演/クローバーの会=声楽(女性ヴォーカル)  
曲目/瑠璃色の地球 ほか  
○出演者募集  
出演時期/平成25年9月・11月・平成26年2月定例会開会日の午後0時15分～45分  
場所/県議会庁舎1階ラウンジ  
条件/無料出演(ピアノ以外の楽器は持ち込み)  
※演奏ジャンル、プロ・アマチュアなど資格は問いません  
○申込期限/平成25年5月27日(月)  
お問い合わせ先 宮城県議会事務局総務課TEL022(211)3571

「みやぎ県議会だより」へのご意見・ご感想をお寄せください  
宮城県議会事務局政務調査課  
〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8番1号  
TEL022(211)3592 FAX022(211)3598  
Eメール gtyosas@pref.miyagi.jp